

【題名】 税

【学校名・学年】 恵庭市立柏陽中学校三年

【氏名】 菅原 鉄生

日本には、所得税や消費税など、様々な税金があるが、その中で、今回僕が取り上げるのは、「たばこ税」である。

たばこの税負担率は、六割以上であり、たばこには、「国たばこ税」「地方たばこ税」「たばこ特別税」そして「消費税」と、何種類もの税金がかかっている。そのため、たばこは、一箱役五百円と高いものになっている。

その上、たばこ税は、増税の傾向にある。理由としては、「喫煙は良くないもの」という考えが、社会に浸透していて、受動喫煙などが社会問題化している。そのため、増税に反対する者が、喫煙者のごく少数しかいないためである。

次に、僕がこのたばこ税を取り上げた理由について話していこうと思う。

たばこには、三つの有害成分が含まれている。

一つ目は、ニコチン。ニコチンは、たばこへの依存性を高める物質で、麻薬に匹敵する程の依存である。そして発がん性もある。

二つ目は、タール。タールは、一酸化炭素、ガス状成分を除いたタバコ煙の粒子部分の総称である。ニコチンをはじめとする有害物質を数多く含んでいる。

三つ目は、一酸化炭素。一酸化炭素は、体内のヘモグロビンと極めて結びつきやすく、血液の酸素運搬能力が低下し、酸素不足に陥ってしまう。

このようにタバコには、様々な有害物質が含まれている。なのになぜたばこは合法なのだろうか。それが今回、たばこ税を取り上げた理由である。

なぜこんなにも、人体に有害なものが多く含まれているたばこが合法なのだろうか。

僕は二つのことが調べてみて分かった。一つ目は、戦時中の兵士のストレスのはげぐちとして、政府が提供したもので、なかなか違法のものとして、取り締まるのが難しくなってしまったから。

二つ目は、たばこ税は、二兆二千億円と、相当な額であり、すでになくってはならない存在だからである。

いままで、たばこについて話してきた。僕はたばこが嫌いなので、たばこ税について調べた。

今後の日本で、たばこというものがなくなり、たばこ税に頼らず、生活ができることを切に願っています。